

福生市議会だより

FUSSA

No.190

発行 福生市議会
平成25年10月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成25年 第3回定例会

平成24年度決算を認定

☆オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書を提出

主な内容

| | |
|------------|------|
| 可決された案件 | 2面 |
| 平成24年度決算審査 | 3面 |
| 一般質問 | 4~6面 |
| 委員会の審査 | 7面 |
| 特別委員会活動 | 8面 |

平成25年第3回定例会は、9月2日から9月26日まで会期25日間で開催され、18人の議員による一般質問が行われ、条例改正など市長提出議案15件、委員会提出議案3件、陳情3件などが審議されました。

本会議の経過

▼1日目(2日)は、一般質問の通告人数や通告時間、付託された議案を審査する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を25日間と決定しました。

▼2日目(3日)は、5人の議員が、一般質問を行いました。

▼3日目(4日)は、6人の議員が、一般質問を行いました。

▼4日目(5日)は、1人の議員が、一般質問を行いました、18人の議員の一般質問が終了しました。

続いて、市長から提出された議案の提案理由の説明後、所管の委員会に付託されました。なお、東京たま広域資源循環組合規約の変更については、慎重審議の上、即決で可決されました。

▼5日目(26日)は、最終日で、委員会へ付託された議案15件について、それぞれ可決・認定及び同意しました。

また、委員会提出議案3件(意見書提出)を可決し、新たに提出された陳情1件を含めた陳情3件のうち、1件は不採択とし、他の2件については、継続して審査することとなり、今定例会を終了しました。

委員会提出議案第5号 「地方税財源の充実確保」を求める意見書(要旨)

厳しい財政状況が続く中、市が住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。よって、国においては、次の事項を実現されるよう強く求める。

- 1 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について
- (1)地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。(2)特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。(3)財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。(4)地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。(5)地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは避けること。
- 2 地方税源の充実確保等について
- (1)地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5:5」とすること。その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。(2)個人住民税は、その充実確保を図るとともに、政策的な税額控除を導入しないこと。(3)市町村の基幹税目である固定資産税の安定的確保を図ること。特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。(4)法人住民税は、均等割の税率を引き上げるなど、(5)自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。(6)ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとって貴重な税源となっており、現行制度を堅持すること。(7)地球温暖化対策と税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

委員会提出議案第6号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書(要旨)

温室効果ガスの削減は、地球規模の重要な喫緊の課題となっており、地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きい。地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や再生可能エネルギーの活用等の取り組みを、山村地域等の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠であるが、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、その結果、山そのものが荒廃し、自然災害等の脅威に国民の生命財産が脅かされる事態が生じており、これを再生させると共に、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源確保を講ずることが急務である。

よって、福生市議会は、政府及び国に対し、自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図ることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築の実現を強く求める。

委員会提出議案第7号 CVI-22オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書(要旨)

7月29日付け、米太平洋空軍司令官の記者会見時の発言として、CVI-22オスプレイの日本での配備先について、米軍横田基地が有力な候補地であり、日米両政府間で協議中であるとの報道があった。このような報道に接することはまことに遺憾である。

米軍横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、航空機の墜落や部品落下といった人命にかかわる事故への懸念など、住民の日常生活での不安が続いている。福生市は、米軍横田基地を抱える自治体として、基地騒音や事故に重大な関心を持っており、今般の報道内容が仮に事実とすれば、米軍横田基地への配備が検討されていること自体、極めて遺憾であり、福生市議会として容認できるものではない。

提出先 防衛大臣、外務大臣、防衛省北関東防衛局長

よって、福生市議会は、政府が米国政府に対し、CVI-22オスプレイの米軍横田基地への配備検討の撤回を強く働きかけるよう求める。

【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長



▲ゆるキャラグランプリ出陣式「毎日投票 よろしくたっけー☆☆」

11月8日まで
投票受付中です!